

社会貢献活動

独自のノウハウや経営資源を活かして、広く社会に対する責任を果たしていきます。

社会貢献活動の考え方

カシオは「創造 貢献」の経営理念に基づき、人々から喜びと感動をもって受け入れられる製品を提供することで、社会に貢献するという原点に立っています。

また、事業による社会貢献以外にコア・コンピタンスである「小型・軽量・薄型・省電力」に代表される独自のノウハウや経営資源を生かした社会貢献もしていきます。

社会貢献の方法として、単に寄付をするような間接的な活動だけでなく、社員の持つ知識や経験などを提供することもその重要な活動です。

特に、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、よき企業市民としてカシオに何ができるかを見極めながら、自主的な社会貢献活動を設定し、責任を果たしていくことが重要であると認識しており、従来の活動をさらにレベルアップしながら進めています。

社会貢献の重点分野として、かけがえのない地球資源と環境を守るための「環境保全」、今後の世界を担う次世代に対する「教育」、人々の喜びと感動の場としての「文化・芸術」、社会の発展に不可欠な最先端科学技術開発に寄与する「学術・研究」、さらに地域社会を構成する一員としての「地域社会活動」の5分野を設定し、注力していきます。

今後はさらに社会貢献活動を充実させるとともに、グループ全体の活動実績を網羅集約する仕組みを構築し、適切に開示していきます。

地域社会への貢献

●●● 東京都環境局との教育活動

東京都は2004年度から環境教育および地球温暖化対策の有効な施策として、NPO/NGO(ArTech)が開発した「Kids ISO14000プログラム」の普及事業を進めており、既に8,700名の都内の児童が、本プログラムに取り組んでいます。カシオ計算機はこの活動への協力企業として、インストラクターの資格を取得した従業員が積極的に参画し、多方面での活動を展開しています。2005年度はこの一環として、東京都の環境局の要請を受け、都内の教育関係者および企業のCSR責任者の方々へ事例発表を行い、「Kids ISO14000プログラム」の理解を深める活動を行うとともに、環境学習リーダー・フォローアップ講座の一端を引き受け、カシオの地域教育への取り組みや、児童の育成活動の大切さについて、講義をしました。

カシオは、このように地域への社会貢献活動を積極的に推進し、特に児童を中心に、“自律と自立”の実践と、“生きる力”を醸成していく場を提供し、社会一般から評価を受けています。現在、地域を限定せず、多くの教育機関から、工場見学を含めた出張授業の依頼を受け、その実現を図るとともに、さらなる対応への準備を進めているところです。カシオは地域社会と密接な交流を維持しつつ、児童への“生きる力”の提供を柱に、将来にわたり、地球環境の保護と経済の発展とが両立する社会環境の醸成に積極的に取り組んでいきます。

●●● 総合的な学習の時間を支援 (出張授業／幡代小学校)

2006年2月10日、カシオ計算機の環境センター長がゲストティーチャーとして「地球温暖化」への企業の取り組みについて、渋谷区立幡代小学校の5年生を対象に出張授業を行いました。

当日は、3クラスを対象に総勢約90名の生徒さんを対象に実施しました。

環境活動ビデオ資料での概要説明に続き、環境センター長が温暖化現象の仕組み、製品・物流・各事業拠点での環境活動の具体例による「カシオの地球温暖化への取り組み」を説明し、その後質疑応答という形式で進行しました。生徒さんたちは興味津々といった面持ちで説明を聴いていましたが、特に環境に配慮した製品の実例として、「小型・軽量・薄型・省電力」を実現したデジタルカメラやソーラー電波ウォッチの実際の製品を手にした時は、全員目を輝かせ、感嘆の声をあげ、休み時間に入っても質問が絶えない盛況ぶりでした。

「地球温暖化」という難しい内容でしたが、担任の先生方からは、生徒が授業後も出張授業に関連する話をされているとの言葉をいただき、家庭や個人での温暖化への取り組みを積極的に行ってもらえると考えています。



出張授業風景